

阿曾浦漁場環境調査

観測日時

令和6年 9月 2日月曜日 10時00分

天候 晴れ

観測 南島種苗センター

観測地点 (水深)	水深 (m)	水温 (°C)	溶存酸素 (mg)	比重 (‰)	プランクトン (細胞/ml)
1. 岸信夫 さん前 (15.0)	1	28.9	6.1		珪 0
	3	29.1	5.9	30	珪 0
	5	29.7	5.4		珪 20
2. 大江 (13.4)	1	29.5	6.1		珪 40
	3	29.1	5.7	31	珪 30
	5	29.3	5.3		珪 0
3. 道方 (9.9)	1	29.5	7.0		珪 0
	3	29.5	6.1	31	珪 0
	5	29.5	4.7		珪 0
4. 毛無 (16.7)	1	28.9	5.7		珪 0
	3	29.2	5.4	32	珪 0
	5	29.1	4.9		珪 0
5. この浦 (中央)	1	—	—		珪
	3	—	—	—	珪
	5	—	—		珪
6. この浦 (奥)	1	—	—		珪
	3	—	—	—	珪
	5	—	—		珪
7. テラマル	1	—	—		珪
	3	—	—	—	珪
	5	—	—		珪
8. カマバ	1	—	—		珪
	3	—	—	—	珪
	5	—	—		珪

備考 「珪」は珪藻類です。(二枚貝の餌等になります。)
 今回の定期観測は、8月27日にカレニアミキモイが検出されたあちの浦のみの観測とさせていただきます。
 今回の観測では有害となるプランクトンは確認されませんでした。
 検出された珪藻類の種類については「シュードニッチア」が多数でした。

※比重(塩分濃度)は塩分濃度計(ATAGO MASTER-S/Mill α)で測定し、値は‰(パーミル)表記とさせていただきます。
 南伊勢町沿岸域の海水の塩分濃度は33‰前後が基準となります。